

# 一般質問



3次計画に向けてしっかり検証を



8月以降の切れ目のない物価高騰対策を期待しています

令和7年度は香美町にとって合併20周年の節目であり、第2次総合計画後期基本計画および第2期総合戦略の最終年度であるこ



たの きみひろ  
田野 公大 議員

持続可能な町政運営を実現する予算とした根拠は  
安全安心、財政の健全化、地域経済の活性化を図ります



とから、これらの計画を着実に実践し、「こどもたちに夢と未来をつなぐまち」の実現を目指す。そのため、「持続可能な町政運営を実現する予算」というコンセプトを掲げたが、その真意と根拠について問う。

町長

以下が持続可能な町政運営を実現する予算とした理由の要点で

す。

- ①人口減少や少子高齢化に対応するため、安全安心な町の仕組みづくりを強化します。
- ②公共施設の老朽化対策を進めるため、必要な支出を計画し、効果的な施策展開を図ります。
- ③将来の財政課題に備え、限られた財源を有効活用

するための財政健全性の維持を重視します。

- ④子育て支援や町民生活の支援を充実させ、地域経済の活性化を図ります。
- ⑤住民サービスの向上を目指し、持続可能な地域社会の推進に向けた施策を新たに検討・実施します。

その他こんな質問もしました  
改めて地方創生の考えを問う。

全国消費者物価指数が3.2%上昇、エネルギー全体が10.8%上昇と物価高騰が町民のくらしを直撃している。一方で、1月



たにくち しんじ  
谷口 眞治 議員

切れ目のない物価高騰対策を  
状況によつては、考えます

の実質賃金は1.8%マイナス、今年の年金はマクロ経済スライドによる目減りでマイナス改定。ひとり1万円の商品券は7月末で終了する。物価高騰に苦しむ町民に対して、8月以降の切れ目のないくらし支援の予算が必要ではないか。決算剰余金や財政調整基金を使えばできるの

ではないか。

町長

現在、一人当たり1万円の商品券を配布しているところです。令和7年度予算には計上していませんが、商品券の終了後の社会情勢の動向を踏まえ、さらなる物価高騰対策が必要か、見極める必要があります。町単独での続け様の同様の支援は、財政



的に大変厳しいものがありますが、状況によつては考えなければならぬ時もあると思っています。